

## 2、06年活動方針

方針 1 人々のねがいと結び、歌いつがれてきたうたを歌い、創り、「みんなうたう会」を旺盛に展開し、“共に生きる町づくり・地域づくり”のうたごえを広げる。

“いつでもどこでもうたごえを”を合言葉に一人・合唱・器楽・和太鼓と民謡・民舞...多種多様な形態で大勢の人とともに歌う喜びをひろげる。

・サークル・合唱団が「九条を守る平和うたう会」（仮称）を1回以上開催し、九条、九九条にちなみ、“999（スリーナイン）カ所・平和うたう会”運動をおこす。

・まず、自らが九条の会に入り、サークル・合唱団で九条の会を作り、幅広い音楽家・音楽愛好家とともに音楽九条の会を作り、地域・分野の九条の会との連携を深めた「講演と音楽の夕べ」等創意的活動を展開する。

すべてのサークル・合唱団は旺盛な演奏普及活動を行い、60周年計画をもって“みんなうたう会”を開く

・人間らしく生き、働くために、働く者のうたごえを地域・職場から共に起こす。

「みんなうたう会」～“いつでもどこでもうたごえを”様々な形態、内容、場所でうたい広げる活動を総称して言う言葉

多くの人が“こぞって歌える”愛唱歌を創りだす創作運動を活発にする。

・歌を創り、生まれた作品を歌い、その中でよりよいものをつくりあげていく“みんなでつくり歌う運動”をひろげる。

・「日本のうたごえ創作センター」の機能を充実させ、創作活動家を生み出し、創作活動と作品交流を発展させる。

・3月31日～4月2日開催の全国創作合宿を内容・参加運動とも成功させ、憲法をまもり生かす歌づくりを積極的にすすめる。

歌う喜びを出発点に、いのちや音楽の輝きを人々に届ける豊かな演奏創造を発展させる。

方針 2 地方、産業別、全国とも活発にし、歌う活動の実際を交流し、学び合い創造の前進をめざす合唱発表会にする。

・合唱発表会を協議会活動の年間活動の柱に据え、演奏・講評を通じて交流し学び合うという発表会の原点をいっそう輝かせ、さらに改善を進める。

・新しいところに積極的に呼びかけ、開催の仕方、運営を工夫し、多彩な音楽活動が交流できる合唱発表会をつくる。合唱発表会・交流の部を今年度も開催する。

合唱発表会参加団体今年度100団体増の目標を持ち、未開催県の今年度開催計画を持つ。

方針 3 地方祭典の全県開催をめざし、日本のうたごえ祭典の長期開催計画を持つ。

うたごえを起こし、新たな発展をめざす「うたごえ祭典」の役割を輝かせ、うたごえ

祭典の新たな前進をめざす。

「2006年日本のうたごえ祭典inふくい・北陸」を全国の連帯で成功させる。

地方祭典の全県開催の具体的計画をもつ。

日本のうたごえ祭典開催計画～06年～福井、07年～奈良、08年～東京で日本のうたごえ祭典を開催する。

09年以降の祭典計画を祭典プロジェクトで検討案をもつ。

方針 4 歌の広がりをつたごえ新聞読者につなぎ、豊かな「うたごえ発ジャーナル」を確立する。

・読んで魅力を伝え、結びつきを広げ、読者になってもらう～読み、つくり、広げる～を合い言葉に紙面の中からたくさんの方の運動の財産を学び、創造・組織の力にする。

うた新フォーラムを各地で計画的にすすめる。

方針 5 うたごえ出版物をより多くの人にひろめ、様々な出会い・ドラマ・感動の輪を広げる。

すべての協議会加盟団体に事業部担当を置き、事業普及活動を活発にすすめる

多様な「みんなうたう会」に役立つ歌集を発行し、旺盛な普及活動をすすめる。

方針 6 演奏・創造を発展させ、また、運動の理念を受けつぎ発展させる学習・教育をすすめる、21世紀の運動をになうリーダーづくりを計画的にすすめる

それぞれの合唱団、サークルでの教育を日常の練習や実践の中で行うことを重視するとともに系統的に各種講習会への参加を強める。経験あるリーダーにつづく、中堅、若手リーダーが力を発揮し育っていけるように協議会でも計画的にすすめる。演奏・創造活動を豊かに発展させ交流し、批評活動や運動の理論活動をすすめる、力にしていく。

サークル・合唱団の参加を強め、全国講習会を成功させる。

教育・学習運動を活発にし、21世紀の運動を担うリーダーづくりを計画的にすすめる。

日本のうたごえ祭典参加の企画に合わせた全国祭典合唱団、日本のうたごえ合唱団の参加を強め、日本のうたごえの創造的前進をめざす。

指揮者・合唱指導者連絡会等、教育システムの組織化をすすめる。

方針 7 青年の要求に応えた音楽づくり、青年サークルづくりを積極的にすすめる、21世紀を担う青年をたくさん迎える。

青年の持っている多様な要求に敏感に目を向け、仲間づくり、サークルづくりと団体・分野を超えたネットワークづくりを強める。

「運動する力」「音楽する力」をつける「学びの場」を系統的につくる。

青年学生部を充実させ、全国を視野に入れた青年のうたごえの連帯を強める。

初めて開催される「全国青年のうたごえ祭典 in Tokyo of フォルテ 大きくうたえ」（仮称）を成功させる。

方針 8 サークル・合唱団をつくり、大きくし、うたごえ協議会を強化と建設をすすめる。また、ブロックの連帯活動を活発にするため、ブロック連絡会づくりを強める。

サークル・合唱団を新しくつくり、サークル・合唱団員を増やし、合唱発表会参加団体、協議会加盟団体、うたごえ新聞・季刊「日本のうたごえ」の読者を増やすことを目標を持って計画的にすすめる。

合唱発表会参加団体を100団体増、県うたごえ協議会の確立目標を持ち、新加盟団体今年度40団体に。

うたごえ新聞新読者を1000人増やし、60周年に最高時読者を迎える展望をもち、季刊「日本のうたごえ」新読者を150人に。

方針 9 世界の音楽家、音楽団体との国際交流を広げる

アジア、世界への視点で60周年に向かう国際交流の輪を広げる。

方針 10 和太鼓と民謡・民舞のネットワーク化とシステム化を促進する

専門家との協力協同、全国講習会の充実、郷土センターの設立、郷土教育者の組織化・メニュー化、和太鼓と民舞のまつりの全国展開プラン、まちおこし、まちづくりにつながる活動を計画を持ってすすめる。

和太鼓・民舞仲間をうたごえの輪の中に迎えるとりくみを強める。